



慶應義塾大学ビジネス・スクール

Sushi Zushi 2018 (A)

5

2018年5月17日はAI Tomita (CEO & founder of Sushi Zushi) にとって忘れられない日になった。同じく San Antonio に本拠を構える Food Management Partners (FMP) に 65% の株式を売却したのである (残りの 35% は AI が引き続き保有)。この日を境に、AI は CEO という肩書きは持つものの、実質的な経営からは一歩引き下がることになった。

10

この日のことを AI は今でも昨日のことに覚えているという (注: 2019年3月現在)。その後の自分と Sushi Zushi に関して、彼は次のように語る。

「これでいいのか」「ナショナルチェーンにするという夢を捨てるのか」と迷いに迷いました。今でも仕事をしていないことに罪の意識 (guilt) を感じます。

15

ただ、FMP の効率化力は凄まじく、自分は実質的な仕事はほとんどしていないにも拘らず手取りは増えました。

20

これまでは自分が全てコントロールしていたので、それを手放すことに対して抵抗と心配がありました。それに対して FMP のパートナーから「自分だけでやっていたら成長できません。手放すことができるから成長できるんです。実際、二店目を出した時には他人に鍵をわたしたでしょう」と言われ、確かにそうだとも思いました。

25

本ケースは慶應義塾大学大学院経営管理研究科教授 清水勝彦が作成した。クラスでの討議資料として作られたもので、経営の良否を問うものではない。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール (〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4丁目1番1号、電話 045-564-2444、e-mail: case@kbs.keio.ac.jp)。また、注文は <http://www.kbs.keio.ac.jp/> へ。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法 (電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない) による伝送も、これを禁ずる。

30

Copyright © 清水勝彦 (2019年5月作成)